

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 令和 8年4月10日

事業所名 お結び

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			・活動内容によって、広いスペースが必要な時は、公園や市民センターのホール等を利用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	9			・活動内容によっては、職員を増員しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			・定期的に会議を開き、意見交換や振り返りをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			・自己評価表の結果を全職員で共有し、改善点などを話し合うようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9				・今後受けようと考えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			・研修を受けた職員がアウトプットに努めています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			・保護者のニーズも取り入れながら、最低6か月に1度のモニタリングを行い目標の達成度や課題を保護者と共有して作成します。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			・いくつかのアセスメントツールを準備し活用しようと考えています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			・大まかな活動内容を定め、それに沿って職員の意見を取り入れながら活動プログラムを決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			・児童の成長や季節・状況などを考慮して活動プログラムを決めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			・毎日のミーティングでその日の状況にあった個々の児童への関わり方を職員間で共有し、支援にあたっています。又長期休暇にしか出来ない事等を取り入れています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9			・個々の児童の特性を十分に理解し、個別・集団の必要性保護者の意向を考慮した上で作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			・支援開始前には職員間で必ず打合せをし、適宜ミーティングを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			・利用児童のその日の記録を活用し、支援の振り返りに役に立て、気付いた点等を共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			・記録の取り方についての指導も行い、正しい記録の取り方を徹底しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			・最低6か月に1度はモニタリングを行い、さらにモニタリングの結果で検討会議を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9			・職員間にガイドラインを周知し、支援の基本活動を意識して支援を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			・その際は、児童発達管理責任者が参画し、また適宜相談支援員との連絡を取っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			・必要な情報の取得や提供に努め、事前の連絡調整を行うことで、トラブル軽減に努めています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		9			・今のところ非該当になりますが、必要に応じて行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		9		・低学年や特に新0年生の場合は必要に応じて情報収集しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		9			・今のところ非該当になりますが、必要に応じて行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		9		・積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		9		・月に数回市民センター等を利用し、交流の場を設けています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		9			・今後参加する機会があれば積極的に参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		9		・送迎時や連絡ツール・連絡ノートを活用して、常に情報共有を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		9		・個別面談の他要望があれば話し合いの場を設けたりして定期的な様子を伺うようにしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		9		・契約時に話をしています。必要な時は面談時などにも話をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		9		・適宜対応し、必要に応じて助言しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9			・保護者会は開催していません。今後保護者からの要望があれば、検討していきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		9		・苦情相談窓口を設置し、迅速かつ適切に対応できるように体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		9		・毎月作成し、利用児・保護者にお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している		9		・法人の「個人情報保護規程」に基づき取り扱いには十分に注意しています。書類関係は鍵付きキャビネットにて保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		9		・個々に合わせた伝達方法で情報提供に努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7			・機会を作って、イベントを開催していこうと思っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		9		・マニュアル作成に努め、職員間に周知しています。保護者には適宜お知らせしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		9		・避難訓練を適宜行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		9		・マニュアルの確認・周知に努めています。又、研修にも参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		9		・個別支援計画の中には必要に応じて身体拘束に関する記述があります。またやむを得ず行った場合には記録をとり保護者へ説明をします。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		9		・診断書を提出してもらい適切な対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		9		・全職員に周知し、また事例検討も行っています。	